

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL <https://www.sakainet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,333	△15.7	143	△73.3	151	△69.5	112	△44.8
2019年3月期第1四半期	6,325	2.5	537	△1.3	497	△1.9	203	△32.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △23百万円（-%） 2019年3月期第1四半期 △147百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.31	—
2019年3月期第1四半期	47.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	35,071	22,048	62.7
2019年3月期	35,402	22,285	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 22,005百万円 2019年3月期 22,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,310	11.5	1,050	5.9	950	10.1	660	37.8	155.00
通期	26,560	7.2	1,400	△1.0	1,180	△1.7	830	0.6	194.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,287,517株	2019年3月期	4,287,517株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	25,001株	2019年3月期	24,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,262,543株	2019年3月期1Q	4,250,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

区 分	当第1四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日		前第1四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	2,577	48.3	2,121	33.5	455	21.5
海 外	2,755	51.7	4,203	66.5	△1,447	△34.4
北 米	1,558	29.2	1,513	23.9	45	3.0
アジア	1,079	20.3	2,397	37.9	△1,317	△55.0
中近東・ロシアCIS	6	0.1	66	1.1	△59	△90.3
その他	110	2.1	225	3.6	△114	△50.9
合 計	5,333	100.0	6,325	100.0	△991	△15.7

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、日米先進国経済が堅調に推移する一方で、アジア・新興国経済の減速が鮮明化すると共に、米中冷戦構造を軸とした地政学情勢の緊迫化、テクノロジー革命に伴う産業構造変化の急進など、世界の政治、経済、技術情勢が大きく変化する中で推移しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、北米向けサプライチェーンの修正、自律走行ローラの研究開発、インドネシア拠点の生産能力増投資等、新たな事業環境における成長基盤づくりに注力して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内販売が伸長したもののアジア・新興国向け販売が落込み、前年同期比15.7%減の53億3千万円となりました。

利益面では、売上高の減少と米中間サプライチェーン修正に伴う原価上昇の結果、営業利益は前年同期比73.3%減の1億4千万円、経常利益は同69.5%減の1億5千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同44.8%減の1億1千万円となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、排ガス規制特需反動減の解消により好調に推移し、前年同期比21.5%増の25億7千万円となりました。

海外向け売上高は、アジア・新興国向け販売が停滞し、前年同期比34.4%減の27億5千万円となりました。

北米向け売上高は、住宅建設投資がピークアウトする中で、道路建設等の政府建設投資が拡大基調に推移し、前年同期比3.0%増の15億5千万円となりました。

アジア向け売上高は、インドネシアやタイなど主要市場において経済情勢悪化と選挙の影響で需要が停滞し、前年同期比55.0%減の10億7千万円となりました。

中近東・ロシアCIS向け売上高は、不安定な地域情勢が続く中で販売停滞が続き、前年同期比90.3%減の6百万円となりました。

その他市場向け売上高は、大洋州及びアフリカ向け販売が弱含むと共に、中南米向け販売が停滞し、前年同期比50.9%減の1億1千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 3,933	百万円 4,743	百万円 △809	% △17.1
	営業利益	△47	14	△61	—
米 国	総売上高	1,569	1,532	37	2.5
	営業利益	94	175	△80	△46.1
インドネシア	総売上高	719	2,302	△1,583	△68.8
	営業利益	23	363	△339	△93.4
中 国	総売上高	402	445	△43	△9.7
	営業利益	27	△3	31	—
調 整 額	総売上高	△1,291	△2,698	1,406	—
	営業利益	44	△12	57	—
連 結	総売上高	5,333	6,325	△991	△15.7
	営業利益	143	537	△393	△73.3

日本

国内向け販売が好調に推移したものの、海外向け販売及び海外工場向け部品輸出が減少した結果、総売上高は前年同期比17.1%減の39億3千万円となり、営業利益も4千万円の損失となりました。

海外

米国では堅調な市場環境が続き、総売上高は前年同期比2.5%増の15億6千万円、営業利益はサプライチェーン修正に伴う原価上昇により同46.1%減の9千万円となりました。

インドネシアでは国内市場の停滞にアジア・新興国向け輸出の減速が重なり、総売上高は前年同期比68.8%減の7億1千万円、営業利益は同93.4%減の2千万円となりました。

中国では北米向け輸出を縮小させる一方で国内販売を拡大した結果、総売上高は前年同期比9.7%減の4億円ながら、営業利益は2千万円の黒字に転換しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ3億3千万円減少し、350億7千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が12億6千万円増加、たな卸資産が2億1千万円増加し、受取手形及び売掛金が14億1千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億5千万円減少し、231億4千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が1億6千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億7千万円減少し、119億2千万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ20万円増加し、109億1千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が3千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ9千万円減少し、21億1千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億円減少、その他有価証券評価差額金が1億1千万円減少、為替換算調整勘定が2千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億3千万円減少し、220億4千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.1ポイント減少し、62.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後国内では、国土強靱化対策の執行に伴い政府建設投資が底上げされますので、底堅い事業環境が続くものと予想しています。

海外では、世界経済がピークアウトする一方で、欧米や中国において金融緩和とインフラ投資による景気刺激策が動き始め、東南アジア諸国でも停滞していた経済情勢に底入れの兆しが見えて来ておりますので、当面は一進一退の事業環境が続くものと予想しています。

このような見通しにおいて当企業グループでは、変化を大前提とした事業経営と、海外事業と次世代事業による中長期成長戦略を基本に、需要変化対応力の強化、米中対立に伴う米国事業と中国事業の収益構造改革、新技術活用による次世代事業の開発、組織能力のバージョンアップ投資など、変化対応と成長戦略を積極的に推進し、新たな事業環境における成長基盤を固めて参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,282,830	5,550,951
受取手形及び売掛金	7,907,766	6,488,943
商品及び製品	4,500,076	4,770,268
仕掛品	1,832,262	1,623,798
原材料及び貯蔵品	3,570,391	3,718,851
その他	1,241,981	1,027,602
貸倒引当金	△33,913	△34,564
流動資産合計	23,301,394	23,145,851
固定資産		
有形固定資産	6,433,764	6,431,670
無形固定資産	644,545	633,906
投資その他の資産		
投資有価証券	3,331,735	3,169,025
その他	1,691,524	1,691,033
投資その他の資産合計	5,023,260	4,860,059
固定資産合計	12,101,570	11,925,636
資産合計	35,402,964	35,071,488
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,922,344	5,024,752
短期借入金	4,344,125	4,443,660
未払法人税等	67,435	83,903
引当金	169,622	148,554
その他	1,406,560	1,209,461
流動負債合計	10,910,088	10,910,331
固定負債		
長期借入金	1,262,895	1,226,680
退職給付に係る負債	106,914	111,988
その他	837,778	774,162
固定負債合計	2,207,588	2,112,830
負債合計	13,117,677	13,023,162

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,158,962	3,158,962
資本剰余金	6,404,905	6,404,905
利益剰余金	11,085,205	10,984,206
自己株式	△60,905	△61,093
株主資本合計	20,588,168	20,486,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,431,136	1,317,362
為替換算調整勘定	215,040	192,910
退職給付に係る調整累計額	8,365	8,269
その他の包括利益累計額合計	1,654,543	1,518,542
非支配株主持分	42,576	42,803
純資産合計	22,285,287	22,048,325
負債純資産合計	35,402,964	35,071,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,325,143	5,333,620
売上原価	4,423,012	3,944,063
売上総利益	1,902,131	1,389,557
販売費及び一般管理費		
運搬費	110,109	92,784
給料及び賞与	540,283	530,625
技術研究費	199,903	187,392
その他	514,797	435,293
販売費及び一般管理費合計	1,365,094	1,246,095
営業利益	537,037	143,461
営業外収益		
受取利息	2,419	642
受取配当金	61,656	68,551
その他	7,876	10,634
営業外収益合計	71,953	79,828
営業外費用		
支払利息	38,428	45,462
金融手数料	16,626	16,317
為替差損	56,249	8,056
その他	88	1,748
営業外費用合計	111,392	71,585
経常利益	497,598	151,704
特別利益		
固定資産売却益	1,029	1,772
特別利益合計	1,029	1,772
税金等調整前四半期純利益	498,627	153,476
法人税等	293,013	41,117
四半期純利益	205,613	112,359
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,334	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	203,278	112,129

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	205,613	112,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125,001	△113,774
為替換算調整勘定	△229,114	△22,133
退職給付に係る調整額	592	△96
その他の包括利益合計	△353,523	△136,003
四半期包括利益	△147,910	△23,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△148,048	△23,869
非支配株主に係る四半期包括利益	137	225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。